

# 鏡視下腱板修復術前・術後3ヶ月・術後6ヶ月の各時期における Shoulder36 に影響する因子 に関する研究について

医療法人社団我汝会えにわ病院では、運動器の病気で入院・通院されていた患者様の診療情報を用いた研究を実施しております。この研究を実施することによる患者様への新たな負担は一切ありません。また、患者様のプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。

ご自身の試料・情報について、本研究への利用を望まれない場合には、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

## 1. 研究の目的及び意義

鏡視下腱板修復術（ARCR）後は、医療者側評価のみならず、患者立脚型評価が重要とされており、疾患特異的尺度である Shoulder36 は、術後6ヶ月で改善するとされています。しかし、臨床において術後6ヶ月においても肩可動域（肩 ROM）制限や疼痛が残存し、日常生活で困難感を訴える症例を経験します。術後6ヶ月における Shoulder36 に影響する要因を検討することで、生活の質向上に繋がる可能性があると考えます。そこで本研究の目的は、ARCR 後6ヶ月時の Shoulder36 に影響する要因を検討することです。

## 2. 研究方法

### 1) 研究対象者

2021年1月から2023年8月までに当院にてARCRを行い、術後6ヶ月経過した方とします。除外基準は、問診票の回答が困難な方、過去に同側肩関節手術の既往がある方、データ欠損がある方とします。

### 2) 研究実施期間

2024年10月から2026年12月

### 3) 研究方法（使用する試料・情報を含む）

日常診療の範囲内で得た既存の情報を用いる後ろ向き研究。検討項目は、Shoulder36、肩 ROM（自動：屈曲、外転、外旋、結帯）、疼痛（Visual analogue scale）、腱板筋脂肪浸潤、患者背景として年齢、性別とします。

### 4) 試料・情報の保存

本研究の試料・情報は当院の責任下にて保存されます。

### 5) 研究成果の取り扱い

ご参加頂いた患者様の個人情報が分からないようにした上で、学会発表や学術雑誌等で公表いたします。

### 6) 問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。また、ご自身の試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としません。

ので、下記にお申し出ください。試料・情報の使用を断られても患者様に不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

医療法人社団我汝会えにわ病院

研究責任者：久保 佑介

連絡先（電話番号）：0123-33-2370（平日：9時～17時）

#### 7) 研究組織

医療法人社団我汝会えにわ病院

〒061-1449

恵庭市黄金中央2丁目1番地1

Tel：0123-33-2333 リハビリ：0123-33-2370 FAX：0123-33-5108

研究責任者 久保 佑介

共同研究者 木下 幸大, 鷺野 紗季, 家入 章, 石田 和宏, 竹内 裕介

医療法人社団我汝会えにわ病院

2024年10月11日作成